

教育改善 PDCA 進捗シート-07

課題名称	卒業研究の評価方法の改善
起案者	学務委員（伊藤）

※原則として起案者が本シートを継続的に記録，学科ホームページにUPする。

課題の概要（改善すべきとする背景と目的）	
<p>卒業研究発表会では発表内容と発表方法と質疑応答について学習教育目標のDEFに対応した評価を、指導教員（or 研究室教員）を除く全教員行っているが、1年間指導してきた指導教員による評価も、より明確な形で学習教育目標に対応させて行った方が良いのではないかと。また、これにより卒業研究と学習教育目標との対応とその意義を学生が理解しやすくなるのではないかと。</p>	

Phase	議論・措置の内容	議論の経過（年月 委員会 等）	次回予定
P	<ul style="list-style-type: none"> ■指導教員は学習教育目標 DEFG に対応する①課題の理解，②積極性，③論理性，④協調性，⑤分析と計画，⑥自主性と継続性の6項目を評価する。 ■指導教員の評価を80%，卒研発表会の評価を20%として総合的に判定する。 ■2011年度(H23)から実施する。 	<p>2010年7月（若井・及川・鶴崎・松本・伊藤）</p> <p>2010年9月（教室会議）</p> <p>2010年10月（鶴崎・伊藤）</p> <p>2010年10月（教室会議）</p> <p>2011年2月（教室会議）</p> <p>2011年2月（若井・鶴崎・伊藤）</p> <p>2011年2月（教室会議）</p>	<p>2010年9月</p> <p>2010年10月</p> <p>2011年2月</p>
D	<ul style="list-style-type: none"> ■Plan の内容に基づき指導教員の評価シートと卒業研究の評価シートを作成した。 ■指導教員は評価シートに記入。 ■評価シートの回収は技術職員が実施。 ■技術職員は発表会の評価と合わせて最終評価版を作成、それを各教員が確認した。 	<p>2012年2月（若井・鶴崎・伊藤）</p> <p>2012年2月（教室会議）</p> <p>2012年2月（鶴崎・伊藤）</p>	<p>2012年2月</p>
C	<ul style="list-style-type: none"> ■2012年度(H24)も2011年度と同様に実施するためシラバスの内容を確認した。 ■2013年1月に実施内容を再確認する。 	<p>2012年3月（鶴飼・鶴崎・伊藤）</p> <p>2012年4月（鶴飼・鶴崎・伊藤）</p>	<p>2012年4月</p> <p>2013年1月</p>
A	<ul style="list-style-type: none"> ■実施内容を再確認し、本段取りで実施することとした。 	<p>2013年1月（鶴飼・鶴崎・伊藤）</p> <p>2013年1月（教室会議）</p>	<p>2013年3月</p>

C2	■本段取りで、支障なく実施できていることが確認されたたことで、本 WG は完了とした。	2013 年 3 月（教室会議）	【WG 完了】
-----------	---	------------------	---------